

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	社会福祉法人 つどいの家	
代表者名	理事長 佐藤 清	
連絡先 ぴぼっと南光台 TEL : 022-779-7341 FAX : 022-779-7342	E-mail jimmu-step@tsudoinoie.or.jp	

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	ガイドヘルパー養成事業
事業の目的	・しょうがい理解が進み、しょうがいのある方の社会参加や余暇の充実など、自立した生活と自己実現の保障に繋がる。 ・市民向けセミナーや大学訪問等での広報活動により500人にこの事業を知ってもらい35名の受講者を獲得して養成する。 ・先進的にガイドヘルパー養成事業を行っている団体を視察し、事業の継続運営に役立つスキルを習得する。学生ガイドヘルパーも同行、見学をして他団体で活躍している学生との情報交換、交流の機会とする。 ・学生や市民がガイドヘルパーとなり、しょうがいのある方の外出を支援する中で、偏見や差別などの社会課題に触れる機会ができ、差別等の解消のきっかけとなり、共生社会実現の一助となる。 ・福祉、教育に携わったことのない様々な年代の人も短時間で資格を取得できるだけでなく、やりがいや生きがいを感じながら活躍できる機会が創出される。 ・これまでの大学訪問等の広報活動に加えてセミナー等を行う等、広報と実践によって、多様な人たちを社会全体で支える風土を醸成させ、しょうがいのある人もない人も当たり前に社会生活が送れる社会を実現していく。
事業の具体的内容	・学生や地域住民、仙台市民等の様々な世代や立場の方に向けて、しょうがいのある方の社会参加の重要性についての啓発活動（セミナー開催・広報等）を実施。

	・ガイドヘルパー養成講座を期間中 3 回開講し、無料で受講生にしょうがいに対する知識と介護スキルを身につけてもらい、資格取得につなげる。資格取得後に希望する方についてはガイドヘルパーとして、仙台市の移動支援事業の担い手となってもらい、しょうがいのある方の外出のサポートをしてもらう。担い手を増やすことで、しょうがいのある方の余暇活動や社会参加の機会を充実させると共に学生や市民のやりがいや生きがいを感じる場を創出し活躍の場とする。
活動の開始から完了までの流れ	令和 6 年 9 月 ガイドヘルパー養成講座下期（10 月、11 月、2 月）受講生受付開始 ・市民活動サポートセンター、大学への広報活動 ・ホームページ、X にて WEB 募集掲載 令和 6 年 10 月 13 日・14 日 養成講座開催 ・8 名受講（学生 7 名、一般 1 名） 令和 6 年 11 月 26 日・27 日 養成講座開催 ・3 名受講（学生 2 名、一般 1 名） 令和 7 年 2 月 19・20 日 養成講座開催 ・8 名受講（学生 8 名） 令和 7 年 2 月 17 日（月） 視察研修 【研修先】 合同会社結びめ 居宅支援・移動支援事業所「結び-me」（東京都港区西麻布 2-13-17 辰巳レジデンス 302） 【参加者】 サービス提供責任者 1 名、専任ヘルパー 1 名、 学生ガイドヘルパー 2 名 計 4 名
活動の成果と教訓	・市内の大学等を中心に広報活動を行い、約 600 名の学生や市民に周知することができた。 ・受講者は計 16 名に留まったが、半数を超える 10 名が受講後にガイドヘルパーとして外出支援の担い手となり、これまで外出希望に沿えなかった方に定期的なヘルパー派遣が可能となるケースが増え、新たな利用の受け入れも数件ながら実現することができ、しょうがいのある方の余暇の充実、社会参加の機会に繋がった。 ・学生以外の一般市民からの反響もあり、さまざまな世代の支援者を増やすことができた。 ・各回定員を超える申し込み状況ではあったが、受講間近に都合が付かなくなり受講を辞退するケースが多かったことを鑑み、募集開始のタイミングや養成講座の開催日程をもう少し精査する必要があると感じた。

	・他の地域でガイドヘルパー養成事業を行っている団体を視察し、事業の継続運営スキルの習得のみならず、しょうがいのある方への外出支援の重要性やそれに対する熱意を肌で感じることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。
今後の展望など	ガイドヘルパー養成事業を通じて、一定の担い手を確保することはできたが、依然として担い手不足の課題は残されている。今後は更にこの事業に関心を持ってもらえるよう、養成講座の魅力や意義を広く発信していきたい。 しょうがいのある方が、好きな時に好きな場所へ自由に出かけられる社会の実現は、余暇の充実や心の安定だけでなく権利や尊厳を守ることにもなる。しょうがいのある方への外出支援の必要性を社会に伝えると共に、しょうがいへの理解を深め、共生社会実現の一助となれるよう今後も事業を継続していく。

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	280,000	
合計	280,000	

■ 支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
事務消耗品	テキスト 17 冊	93,000	45,540
印刷製本	セミナーチラシ 講座チラシ	12,000	14,067
消耗器具備品	T Vモニター ケーブル	34,000	42,438
消耗器具備品	アクションカメラ	17,000	63,650
研修費	視察研修 5 名を 4 名に変更	250,000	39,170
合計		406,000	204,865

* 用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

※差額¥75,135－返金

ガイドヘルパー養成講座 受講生募集中

・ガイドヘルパー養成講座とは？

知的または身体にしょうがいのある方の「お出掛けしたい！」「行ってみよう！」「という希望に沿えるよう、外出時に必要な支援やコミュニケーション方法などについて講義・演習を通じて学びます。講座終了後は宮城県の移動介護従事者（ガイドヘルパー）として働くことができます。

・対象者は？

本講座に関心がある学生または、地域で活躍の場所を探している方。学部やこれまでの経験は問いません。ガイドヘルパーをやってみようという気持ちがあれば大丈夫です。

・受講期間

講義と演習併せて16時間（最短2日間）で資格を取得できます。対面だけでなくオンラインの講座も開催予定です。日程はホームページをご覧ください

・受講料

受講料はなんと0円(*'▽')
※実習中の食費・現地までの交通費は自己負担となります。

ぴぼっと南光台
泉区南光台 3-1-24
【アクセス】
地下鉄南北線旭ヶ丘駅より
徒歩 12分



申し込みはコチラから ⇒⇒⇒



つどいの家
ガイドヘルパー

ガイドヘルパーや養成講座のお問合せはコチラまで

ぴぼっと南光台 TEL 022-779-7341

E-MAIL pivot-nankoudai@tsudoinoie.or.jp

社会福祉法人 つどいの家

記念撮影♡



海に来たぜ！



1

ガイドヘルパーとは??

知的または身体にしょうがいのある方の「〇〇に行きたい」「〇〇を食べたい」などの声に寄り添い、一緒に外出し、1人では出来ないことをサポートするお仕事です。私たちのサポートで利用者さんの生活の幅が広がり、新しいことにチャレンジする機会になります！！

サポート内容としては移動・食事・排泄の介助、行動や性格の特徴に合わせたコミュニケーション支援などを行います。

3

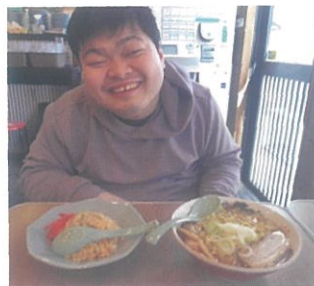
Aさんのとある休日の過ごし方

10:00～ 外出スタート

11:30～ 昼食
(ご希望があったラーメン)
～昼食後は地下鉄に乗って～

13:30～ 床屋さんで散髪

16:00～ 帰宅



この日は、ご自宅へお迎えに行って、外出スタート！利用者さんの希望に合わせて一緒に昼食、そして〇年ぶりの地下鉄に乗り、床屋さんへ！！お腹はいっぱい、髪はすっきりして帰宅しました！



2

活動の時間帯、行き先は？

【土・日・祝日】

9：00～18：00の中で6時間程度

【平日】

15：30～18：30の中で2時間程度

行き先（例）

ショッピングモール、水族館、動物園、映画館、スポーツ観戦 etc...

希望に沿った場所へ行きますが、時々「ヘルパーにお任せ！」という方もいらっしゃいます。その際はヘルパーがおすすめの場所に外出します。

お寿司楽しみ～♡



バス観戦したよ☆



4

ガイドヘルパーのいいところ

Aさん（30代男性）

利用者さんが行きたい所に行ったり、好きな物を食べたり、一緒に余暇の時間を過ごせるのが魅力です！他にも、少しずつではありますが、表情で利用者さんの伝えたい事がわかってきたり、お互いに通じ合えた時が一番の喜びです。

Bさん（20代女性）

年齢の近い利用者さんと友達のように一緒にお出掛けを楽しむこともできます。利用者さんと関わっていると様々な発見があり、自分を見直すきっかけにもなって成長できる場所になっています。

【時給】
¥1,000



ガイドヘルパーをもっと知りたい方・やってみたい方
つどいの家のホームページの【ガイドヘルパー】をクリックしてね(^_-)☆



このパンフレットは「みやぎ生協福祉活動助成金」の助成を受けて作成しています。

広報活動



令和6年10月養成講座



令和6年11月養成講座



令和7年2月養成講座



令和7年2月視察研修



2日で資格がとれます

つどいの家ガイドヘルパー養成講座 受講生募集中！

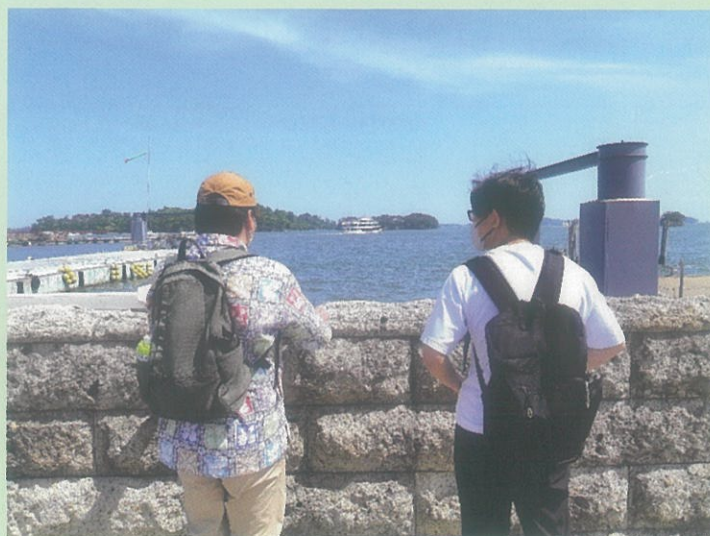
受講料0円



電車に乗ったり、
映画をみたり買い物をしたり...

あなたのサポートで
利用者さんの行きたい！やりたい！が実現します。

さあ、次はどこに行こう？



ガイドヘルパーとは
しょうがいのある方の外出のサポートをする人です。



社会福祉法人つどいの家
地域生活サポートセンター ぴぽっと南光台(ぺんたす)
仙台市泉区南光台3-1-24 022-779-7341
地下鉄旭ヶ丘駅から徒歩10分

詳しくは
ホームページをご覧ください。⇒



内容

知的または身体にしょうがいのある方の「外出したい!」という希望に添えるよう、外出時に必要な支援やコミュニケーション方法について、講義や演習を通じて学びます。講義(12時間)、演習(4時間)の合計16時間です。

	AM	PM	区分
1日目	障害者福祉に係る制度およびサービス	身体障害者居宅介護等 全身性障害者の疾病、障害者に関する理解	講義
2日目	基本的な移動介護に係る技術	障害者の心理 車いすでの移動介護に係る技術	講義 演習

定員

会場

10名

ぴぽっと南光台
(仙台市泉区南光台3-1-24)

詳しくは
ホームページをご覧ください。⇒



ガイドヘルパーの声

利用者さんとの関わりの中で、貴重な体験をする機会が増え、充実した活動ができています。また、回数を重ねるごとに利用者さんの人となりを知ることができるのもガイドヘルパーの魅力の1つだと感じます。

講座の様子



講義



グループワーク



演習



お申込みはこちら⇒

※応募者が定員を超えた場合は受講生を選考させていただきます。
※感染症等の流行状況により、定員を変更する場合があります。

このチラシは「みやぎ生協福祉活動助成金」の助成を受けて作成しています。